

「定期相談の進め方」Basic シート ガイド

定期相談を実施する前の、心構えや準備について、基本的事項を確認します。

○ 事前の準備・心構えについて

- ・子供たちが安心して定期相談を迎えられるよう、目的や意義を伝えましょう。
- ・事前アンケートに目を通し、緊急性が高いと思われる場合には、定期相談を待たずにすぐ対応しましょう。

○ 安心感は、環境にも左右されます～環境整備における心理的配慮～

プライバシーへの配慮

- ・「誰かに聞こえているかもしれない」と感じる環境では、子供は安心して話せません。

声が漏れない配慮
(ドア、声量)

ドアに「面談中」の札(ふいに他者が入室しない配慮)

声が漏れない配慮
(窓やドア、声量)

隣のクラスの面談との距離



外部の視線を遮りつつ
完全な密室にしない

整頓(他の子供のアンケート等が出ていないか)



他の子供の過ごし方や実施時間の配慮

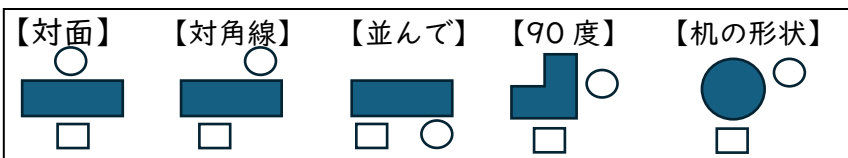
周囲からの視線を遮る工夫(衝立等)

心地よい空間

- ・温度や明るさ、清潔さなど、子供にとって居心地がよいと感じる環境を整えましょう。
- ・窮屈な場所や散らかった場所では、リラックスして話すことが難しくなります。

座席の配置について

- ・面談における座席配置は、話しやすさや心理的な距離感に大きく影響します。



*机を置かないこともあります。

教師の振舞い (「聴き方練習『うめういす』シート」に詳しく記載)

- ・子供たちは、教師の態度から様々なメッセージを受け取っています。教師の振舞いが安心感につながることもあれば、不安や不信感につながることもあります。